

令和4年度 空知知的しょうがい福祉協会 職員研修会 速報

令和4年6月16日(木) オンライン研修

研修の目的

令和4年度から虐待防止委員会と責任者の設置や従業者への研修実施が義務化となりました。私たちが日々支援を行う上で、利用者の権利を守り安心安全な生活を送って頂く為に、必ず知っておきたい知識の習得と、支援の難しい強度行動障害をもつ方への正しい知識と支援方法を学ぶことを目的とし、研修を実施しました。

講師紹介



社会福祉法人雪の聖母園 ライフネットゆうばり
管理者 中川 博之氏



社会福祉法人はるにれの里 STP 事業部
西尾 大輔氏

〇はつめ

今回の研修は、中川博之氏に虐待防止について、西尾大輔氏には自閉症の特性と具体的な事例についてご講演して頂きました。研修参加者から事前に質問を集め、その内容に合わせてご回答も頂きました。

〇中川氏による講演

「虐待を防ぐために理解すべきこと」

虐待を防ぐために理解すべきことについて、①人権を考える、②障がいを理解する、③意思決定支援の必要性、④差別とパターンリズムの順にお話をさせて頂きました。

人権に対する考え方や障がいの捉え方は時代と共に変化する為支援者もそれに合わせる必要があります。意思を尊重するという事は利用者が賢明ではない判断をする事も含まれ支援者が利用者の利益になるようにと本人の意思に反して干渉するパターンリズムが日本には根強く残っており、それを自覚する必要がある事が話されました。

また、差別には社会的差別と生物学的差別があり、後者はもともと人間が持っているものである為、支援をする上では倫理観と専門性が大切であり、そこを我々支援者が学ぶべき点であり、それを組織的に取り組んでいく事が大切と教えて頂きました。最後に、各参加者からの質問にもご回答を頂きました。



〇西尾氏による講演 「強度行動障害の方への支援」

①自閉症の特性について

②質問から具体的な支援を考える」

各参加者からの事前の質問内容と、強度行動障害をもつ方の多くが自閉症でその半数以上の方の不応性行動は自閉症の特性に対する基本的な支援がされていないケースがほとんどであるという内容から、まずは午前の講演では自閉症の特性と基本的な支援についてお話しして頂きました。

また、午後の講演では不応性行動に対する支援に対して3つのキーワード(予防的支援・科学的な支援・一貫した支援)をお話頂き、西尾氏が関わっている事例を映像でわかりやすく説明して頂きました。予防的支援の重要性と支援を始める前には「わかる・できるを作る」「好きな物子エック」の準備が必要な事を教えて頂きました。

参加者からの質問を講演内容に組み込んで頂き、講演で触れられなかった内容(ストラクチャーティーチング等)についてはYouTube動画にて閲覧できるよう加盟事業所へ送らせて頂きました。

